

6月定例会 一般質問要旨

2次元コードを読み取ると、議員それぞれの全ての一般質問の様子をご覧ください。



高齢者支援について



公明党 谷之木 勇作

議員 6月から開始した無料送迎としての高齢者買い物支援事業「お買い物クラブ」について、自宅から店舗がおおむね1km以上離れている人という要件や、30分以内という買い物時間制限の緩和が必要と考えますが、所見を伺います。

地域振興部長 当面は現状の条件に基づいて安定的な運行を保ちながら、利用者やドライバーの意見を参考にしつつ、より利用しやすい仕組みを検討していきたいと考えています。

議員 太田地区および九合地区を支援の対象地域に追加すべきと考えますが、所見を伺います。

地域振興部長 両地区の追加指定などの検討は、今後の事業検証の中で、併せて実施していきたいと考えています。

議員 徒歩以外の交通手段がない人、また70歳以上という年齢制限についても緩和が必要と考えますが、所見を伺います。

地域振興部長 今後、さまざまな意見

が寄せられることが想定されますので、参考にしながら、交通手段や年齢要件についても検討していきたいと考えています。

議員 高齢者買い物支援としてのお買い物クラブの利用要件の緩和について、市長の所見を伺います。

市長 行政センター所長と利用者が協議しながら、より良い内容に随時変更していく必要があると考えます。利用者にとって楽しい買い物となるような環境づくりをしていきたいと考えています。



■その他の質問

- ・太田駅周辺土地区画整理事業について
- ・防犯対策について
- ・ヤングケアラーへの支援について



本市の多文化共生社会の実現に向けた取組について



志友会 長 正祐

議員 (仮称)多文化共生センターおおたの概要について伺います。

企画部長 本年11月下旬以降の開設を予定しており、日本語教室をはじめ、新規事業として、外国人児童生徒を対象とした放課後学習支援事業や、大人を対象とした、ごみや騒音、税など、日本での生活に必要なルールを周知するための「日本でのルール・マナーセミナー」の実施を計画しています。

議員 子どもたちを対象とした、日本での生活ルールやマナーを学ぶ機会の創出について、市長の所見を伺います。

市長 子どもたちに対して、日本のマナーや道徳を教えていくのは非常にいい取り組みだと思います。日本での生活について学習する機会を設け、太田市民であることを意識してもらうような環境をつくっていききたいと考えます。

議員 地域の区長のように外国人コミュニティリーダーを選出し、情報発信を行うことについて所見を伺います。

市長 国際課で外国語版の広報を配布していますが、外国人コミュニティの中からリーダーを選出し、リーダーからみんなに渡るようなシステムを構築することができれば、ごみの問題や滞納の問題など、解決に向かって進んでいくのではないかと考えます。

議員 (仮称)多文化共生センターおおたを交流イベントの拠点として活用することについて、所見を伺います。

市長 市民会館南側の芝生広場やセンターの周辺を活用することで、とても華やかなイベントになり、周辺の自治体からも多くの人が集まると思いますので、今年から計画していきたいと考えます。



太田市体育施設の長寿命化計画について



創政クラブ 川岸 靖隆

議員 体育施設の個別施設計画の概要について伺います。

文化スポーツ部長 既存施設の長寿命化という視点から、体育施設の長期的な方向性を定めたものです。

議員 対象施設のうち、築30年を超える施設について伺います。

文化スポーツ部長 市民体育館、武道館、弓道場、新田武道館および藪塚本町社会体育館の5施設があります。

議員 築30年を超える施設のトイレには湿式トイレが多く、衛生面で課題があると考えます。近年では衛生面や臭いの面でも優れている乾式トイレへの改修が増加していますが、今後の改修計画について伺います。

文化スポーツ部長 建築物のトイレについては、改修計画はなく、不具合が発生した場合に適宜対応している状況です。

議員 体育施設は多様な市民活動の場であり、災害時には避難所としての役割を担うことから、市民が安全、安

心、快適に使用できる空間であるべきと考えますが、体育施設の目指すべき姿について所見を伺います。

文化スポーツ部長 今後は建築物だけでなく屋外施設も含めた見直しを進め、施設の長寿命化を基本とし、快適な利用環境の確保に努めていきたいと考えます。



議員 体育施設のトイレの改修について、市長の所見を伺います。

市長 積極的に改修をしていきたいと考えていますが、費用がかかることから、利用者の多い施設から順次進めていきたいと考えます。

■その他の質問

- ・本市のシティプロモーションについて



認知症施策について



志友会 八長 孝之

議員 MCIとは認知症予備軍とされる軽度認知症を指す言葉ですが、認知症との違いやMCI検査の内容について伺います。

健康医療部長 MCIは軽度認知障害のことで、認知機能に若干の低下があっても日常生活や社会生活に大きな支障がない状態とされています。MCI検査は血液によるスクリーニング検査ですが、MCIの可能性を統計的に調べるもので、診断を確定させる検査ではないようです。

議員 今後、市の健診の中で、MCI検査や認知機能検査に取り組んでいくことについて所見を伺います。

健康医療部長 さまざまな機関で認知症の診断方法や予防についての効果検証が進められており、本市としては、厚生労働省の指針に沿って適切に対応していきたいと考えます。

議員 認知症施策について、市長の所見を伺います。

市長 ふれあい相談員が1人暮ら

し高齢者の訪問を行う中で変化をとらえ、介護予防につながるようなアドバイスをしていく取り組みが非常に重要であると考えます。また、お買い物クラブ事業は、人と人との触れ合いの中で健康を維持することにもつながると思いますので、さまざまなツールを活用して、少しでも認知症を遅らせることが必要だと考えます。

議員 認知症の早期発見のために、検査費用の助成や検診などで積極的に簡易検査を行うことについて、所見を伺います。

市長 どのような検査なのか確認をしながら、研究していきたいと考えます。



■その他の質問

- ・運動公園周辺駐車場について